

# 高等学校第1学年 公民科（現代社会）学習指導案

## 1 単元名

「選挙制度の現状と課題」（「高等学校 改訂版 新現代社会」 第一学習社）

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、現代の経済社会の変容などに触れながら、選挙制度の原則や衆参両議院の選挙の仕組みについて理解を深めさせるとともに、選挙制度の課題について考察させるものである。特に選挙制度の課題については、一票の価値の格差について、最高裁判所判決を踏まえた制度改正について学び、格差が起こる原因や制度改正によって新たに生じる課題について考えさせる必要がある。

また、政治参加が国民の重要な権利であると同時に義務とも言えるものであることを踏まえ、主権者としての在り方生き方を考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせなければならない。

これらのことから、本単元において選挙制度の現状と課題について学習し、真の民主主義を実現させるための制度案を考えることは、主権者として未来の創り手となる「豊かな学び」の創造につながるものであると捉える。

### (2) 系統観

中学校	第1学年（5月）	第1学年（10月） 本時	第3学年（7月）
「民主政治と政治参加」〔公民的分野〕 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。	「私たちの生きる社会」 〔現代社会〕 現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。	「選挙制度の現状と課題」 〔現代社会〕 民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。	「政治参加と民主政治の課題」〔政治・経済〕 民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。

### (3) 生徒観

○生徒は、中学校までの学習内容について概ね理解しているものの、「社会科、地歴・公民科は暗記がすべて」という考えを持っている生徒も多く、現代社会の学習が、未来を創る公民として、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断する力の基礎を養うことを目指しているということを認識していない生徒も多い。

○話し合い活動には積極的に参加できているが、明確な根拠がないまま大きな声の意見に従属する生徒が多くみられる。

### (4) 指導観

○主権者としての意識を高められるようにする。

○選挙についての課題を、当事者意識をもって捉えることができるような問いを設定する。

○自分の考えを根拠付ける資料等を自ら選択し、広い視点から自己の主張を構成させた上で、他者に伝えることができるようにする。

○多様な価値観を持つ他者との対話を充実させることで、自己の考えを深めることができるようにする。

**研究の視点1**  
「見方・考え方」に着目した問いの工夫

- ① 「『見方・考え方』に着目した問い」を設定することで、これまでの学習や経験を活かし、試行錯誤しながら自分の考えを持てるようにする。
- ② 複数の意見が掲載されている資料を提示し、他者と対話する時間を充実させることで、多様な価値観を持った他者との合意形成を図りながら自分の考えを深め、持続可能な社会を実現していこうとする態度を育む。

### 研究の視点2

学びを実感する  
振り返りの工夫

- ③ ワークシートに、資料から読み取ったことや他者の意見を記入する欄を確保し、自らの意見が形成されていく思考過程を可視化できるようにする。
- ④ 振り返りの場面において、自由記述や自己評価の項目を工夫し、学習内容と社会生活のつながりを実感できるようにすることで、自己の成長を感じ取らせ、現代社会の諸課題について主体的に関わろうとする力を育み、主権者としての意識を高めさせる。

### 3 単元の目標と評価規準

単元の目標	望ましい選挙制度を追究する活動を通して、民主政治の本質について考察し、社会に参画する力を高める。		
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
①政治及び選挙についての興味・関心が高まっている。	①選挙及び政党政治における課題の原因を見出し、課題解決のための具体的方策を考察し、説明している。	①自らの意見を根拠付けるのに必要な資料を選択し、資料から選挙における課題を読み取っている。	①日本の選挙制度やその課題について正しく理解している。 ②政党や圧力団体が持つ役割について理解している。

### 4 指導・評価の計画（3時間取扱い 本時2／3）

単元を貫く問い：より多くの国民の声を届けられる選挙制度を提案しよう。

次	時	学習活動	評価及び研究の視点
一	1 2 (本時)	1 選挙制度の四つの原則を知る。 2 日本の選挙制度について理解する。 3 選挙制度の現状と課題について理解を深め、その原因と解決策を考える。	【知識・理解】①：単元テスト  【思考・判断・表現】①：ワークシート、観察 【資料活用の技能】①：ワークシート 【研究の視点1】 ②資料や他者との対話の中で、自分一人では考えることができなかったことに気付かせる。 【研究の視点2】 ③根拠を明確にして意見をまとめることで、対話の前後での自分の考え方の変化に気付かせる。
二	3	1 政党や圧力団体の持つ役割について理解する。 2 政治的無関心の割合が高まっている現状と解決策を考える。	【知識・理解】②：単元テスト 【関心・意欲・態度】①：ワークシート、観察 【研究の視点1】 ①当事者意識を持ち、既習知識を活用しながら課題の解決策を考えさせる。 【研究の視点2】 ④ワークシートを活用しながら、選挙は国民が直接政治に参加する大切な機会、投票は主権者としての責任を果たす行為につながるという意識を高める。

### 5 本時の学習

#### (1) 目標

資料をもとに、複数の選挙制度改善案のメリット・デメリットを比較・検討し、今後の望ましい選挙の在り方について根拠を示して表現することができる。

#### (2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 15分	<p>1 本時の目標を確認する。</p> <p>学習目標</p> <p style="border: 2px solid black; padding: 5px;">国政に、より多くの国民の声を適切に届けるための方法を考える。</p> <p>(1) 前時の復習をする。</p> <p>(2) 本時の問いと流れを確認する。</p> <p style="border: 2px solid black; padding: 5px;">[本時の問い] 参議院の選挙区選挙の今後のあるべき姿を考えよう。</p>	<p>○学習目標と本時の流れを説明し、生徒が見通しを持って授業に参加できるようにする。</p>	<p>パソコン (パワーポイント) 掲示 ワークシート</p>
展開 30分	<p>2 一票の価値の格差について知る。</p> <p>(1)一票の価値の格差が生じる原因を考える。</p> <p>(2) 格差是正のために国が講じた策について知る。</p> <p>(3) 国が講じた施策からどのような問題が生じるおそれがあるかを考える。</p> <p>3 [本時の問い] について考え話し合う。</p> <p>(1) 選挙制度の改革案として、どのような方法があるかを知る。</p> <p>(2)それぞれの改革案のメリット、デメリットを、提示された資料を踏まえて考える。</p> <p>(3)それぞれの改革案のメリットとデメリットを発表し合い、ワークシートに整理する。</p> <p>(4)それぞれの改革案を「一票の価値の平等」と「地方への配慮」という点に着目して比較・検討し、班で最もよいと思う改革案を選択する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【言語活動】</b> (設定の意図)</p> <p>一票の価値の格差是正と地方への配慮を両立することは難しいが、対話を通して合意形成に導こうとする活動を通して、社会事象について多面的に考察する力や、試行錯誤しながら主体的に社会に参画しようとする力を育む。</p> </div>	<p>○資料を拡大したものを黒板に示すことで、学習への参加を促し、理解を深めさせる。</p> <p>○考える時間を明示し、メリハリを持たせる。</p> <p>○新聞記事を提示し、選挙制度改革について最新の状況を知る。</p> <p><b>【研究の視点2】</b></p> <p>③協議前の自分の考えを整理する。</p> <p><b>【研究の視点1】</b></p> <p>②資料や他者との対話を通して多様な意見を知り、自分の考えを深める。</p> <p>○エキスパート活動として、新聞記事を活用し、必要な情報を自分で取捨選択させる。</p> <p>○活動の時間を区切り、テンポよく話し合いが進むようにする。</p> <p>○他者の意見や対話を通して変わっていった自分の考えも書き留めさせる。</p> <p>○ジグソー活動として、思考ツールを用いて、それぞれの改革案のメリット、デメリットを整理させ、班での話し合いの内容を焦点化する。</p> <p>○班で選択した改革案について、選択した理由を含めて発表させる。</p> <p>○協議後の自分の考えを、ワークシートに記入させる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>評価：思考・判断・表現（ワークシート・観察）</p> <p><b>B基準</b> 望ましい選挙制度の在り方について、根拠をもって自分の考えを表現している。</p> </div> <p><b>A基準</b> 対立する意見を、公正・公平の視点から比較・検討し、一つの意見にまとめている。</p> <p>〈B基準に達していない生徒への手立て〉</p> <p>○選挙制度の改革案を2つに絞って、考えさせる。</p>	<p>パソコン (パワーポイント) 資料集 ワークシート 新聞記事 タイマー</p> <p>ワークシート 資料プリント</p> <p>思考ツール</p> <p>ワークシート</p>
整理 5分	<p>3 学習したことを振り返る。</p> <p>(1)授業を通して分かったこと、もっと知りたかったことをまとめる。</p>	<p><b>【研究の視点2】</b></p> <p>③学習を通して、自分の考えがどのように変わったかを振り返る。</p>	<p>ワークシート</p>